

小野あつこ

上原りさ

親子で楽しめるイベント
「あつりさとチョッピーの森」が
はじまるよ！

あつこお姉さんとりさお姉さん、
そして森の妖精チョッピーと、
みんなで歌って踊って楽しみよう！

全国都市緑化
かわさきフェア公演
はじまるよ！

あつりさと
チョッピーの森

チョッピー

公式SNS



2025

4.6日

カルッツかわさき

住所：〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見1丁目1-4

昼公演：開場 12:45 / 開演 13:30

夕公演：開場 15:45 / 開演 16:30

料金

S席 ¥3,800 (税込) ※全席指定 1F前方席

A席 ¥3,000 (税込) ※全席指定 1F中央席

B席 ¥2,500 (税込) ※全席指定 1F後方席

【先行発売】2024年12月25日(水) 10:00～ ※先着

SUPERNOVA KAWASAKI オフィシャルプレイガイド
<https://ticket.supernova-kawasaki.jp/>

【一般発売】3月15日(土) 10:00～

各種プレイガイド

かわさきフェア
公式HP



共催：川崎市 / 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会 / 株式会社ホリプロ

企画制作：株式会社ベルキスコポレーション / 株式会社ステラキャスト

イベントに関する問い合わせ：supernova@horipro.jp 株式会社ホリプロ 044-388-9839(平日 11:00～17:00)



Green For All
KAWASAKI 2024



©NHK・NHKエデュケーショナル

2025年4月5日(土) カルッツかわさき ホール

神奈川県川崎市
川崎区富士見1-1-4

2025年1月18日(土) 10:00~ 販売開始

チケットぴあ WEB サイト

<https://w.pia.jp/t/wanwanmatsuri/>

※座席選択不可。WEBサイトからの購入のみです。電話、店頭での販売はございません。
※クレジットカード決済のみの受付となります。購入確定後のキャンセルは一切できません。
※チケットは紙チケットのみです。(電子チケットはありません)

お問い合わせ

NHKプロモーション 03-5790-0888 月~金曜日11:00~17:00 祝日を除く

1回目 開場:13:30 14:00開演 (終演予定 15:00) 2回目 開場:16:30 17:00開演 (終演予定 18:00)

チケット料金[全席指定] 3,600円(税込)

営利目的の転売禁止

*公演当日3歳以上有料。
3歳未満のお子様でも座席が必要な場合はチケットをご購入ください。
*2歳以下のお子様は、保護者1人につきお子様1人まで、膝上で無料でご鑑賞いただけます。
2歳以下のお子様でも座席が必要な場合はチケットをご購入下さい。

公演、チケットに関する詳細を必ず公演 HP でご確認ください。



主催: NHKプロモーション 制作: NHKエデュケーショナル
共催: 川崎市/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

全国都市緑化かわさきフェア公演

全国都市緑化かわさきフェア
開催期間: 2025年3月22日(土)~4月13日(日)
会場: 富士見公園/等々力緑地/生田緑地

Green For All
KAWASAKI 2024



子どもの権利に関する情報紙

39号

Titti (ちっちゃいけどちっちゃくない)

子どもは、それぞれが一人の人間で、自分らしく生きる権利、人として尊重される権利があります。それは、子どももおとなも同じこと。「Titti (ちっちゃいけどちっちゃくない)」は、そんな思いを込めて作っています。



11月20日はかわさき子どもの権利の日

しせい 市制100周年
しゅうねん きねんとくしゅう
記念特集

『子どもの権利×うんこドリル』が、いろいろなところで大活躍!

昨年完成した「子どもの権利×うんこドリル」は、夏に開催したお披露目会を中心に、今までに約2万部配布し、保育園などの子どもに関わる施設や団体等の研修や、子どもたちが日常的に利用する地域のいろいろな場所でもご活用いただいています。

今回は、寺子屋、わくわくプラザ・こども文化センターで行ったワークショップの様子をご紹介します。



子母口小学校
わくわくプラザ

「子どもの権利」が大事だとわかってよかった。



大切な権利がたくさんあることが知れた!

末長小学校わくわくプラザ



「権利」はみんなにあることが分かった。

梶ヶ谷こども文化センター



他の人の意見がたくさん聞けたのがよかった。

寺子屋すげんちゅ



©Y.F./BKS

ファシリテーターの感想

ワークショップのはじめは、「子どもの権利」という言葉に硬い表情をしていた子どもたちでしたが、うんこドリルの面白さで楽しみながら「子どもの権利」について学ぶことができたと思います。

特に、「自分を豊かにし、力づけられる権利」について考える場面で、わくわくプラザやこども文化センターでやってみたいことについて聞いたところ、今までやったことがない遊びの提案や、いつも楽しみにしている行事を増やしてほしいなどの意見が次々に出て、「子どもの権利」が、日常生活のなかで自分自身に関わることだと感じてくれたのだと感じました。

子どもだけでなく、おとなにも「子どもの権利」について伝えたいと思いました。こども文化センターなどでのファシリテーター 橘地区子ども会 森村さん(19歳)

「子どもの権利×うんこドリル」を見たときは、これで学びにつながるのかと感じていたけど、子どもたちが楽しく「子どもの権利」に触れることができていて、学びきっかけになったと思います。「子どもの権利」について、子どももおとなももっと知るといいと思いました。

寺子屋すげんちゅ 寺子屋先生



うんこドリルは、市役所本庁舎15階で配布しています。また、うんこドリルを活用したワークショップのマニュアルを公開していますので、ぜひ活用してください。(講師派遣も承ります)



市ホームページ



申込フォーム



子どもアドボカシーってなあに?

こども基本法第3条や、子どもの権利条約第12条、川崎市子どもの権利に関する条例第15条では、子どもの意見表明について保障する条文があり、子どもの権利を守るうえで、子どもの意見を尊重することが大切にされるという考え方が示されています。

しかし、子どもが自分で、ちゃんと言葉でまとめられない、気持ちが整理できない、うまく説明できないこともあるでしょう。そのようなとき、その子どもの声に耳を傾け支援することを「子どもアドボカシー」といいます。

子どもアドボカシーの対象は、社会的養護の子どもが中心ということではなく、すべての子どもが意見を言いやすくなるように、おとなはその声に寄り添うことが大切です。

そのため、専門的な知識を持った専門アドボケイト(権利の代弁・擁護)だけでなく、一人ひとりが子どもアドボカシーについて考え、理解することが大切です。

社会を構成するパートナーである子どもに寄り添い、子どもの考えを受け止め、一人の人間として対話できるよう、どんな小さな子どもでも声をあげやすく、その声を尊重できる環境が大切です。

例えば、乳幼児期の子どもは言葉で表現することがまだ上手にできませんが、保育園や幼稚園、家庭や地域で乳幼児と接するとき、できる限り子どもに寄り添おうとすることから始めたいですね。



『令和6年度かわさき子どもの権利の日のつどい』を 開催しました!



©Y.F./BKS

川崎市子どもの権利に関する条例に定められている“かわさき子どもの権利の日(11月20日)”にちなみ、たくさんの方々から子どもの権利について知ってもらうため、令和6年11月30日(土)に中原市民館において「かわさき子どもの権利の日のつどい」を開催しました。

当日は、午前中から多くの方々がお越しの上、各ブース内は大変賑わいを見せたとともに、一部企画では行列ができるなど、合計約400名の方々の御来場により、活気に満ちたイベントとなりました。

ホール企画では、市制100周年事業として作成した、子どもの権利について解説するうんこドリルのステージショーを実施しました。ステージショーでは、うんこ先生が登場し、司会者によるマイクパフォーマンスを行いながら、来場者と一緒に子どもの権利に関する問題にチャレンジし、ホール全体で楽しみながら子どもの権利への理解が深まるイベントとなりました。



子どもの権利×うんこドリル
ステージショーの様子

この他、ホール内では、アニメーション作品を上映する短編映画上映会も実施し、多くの子どもたちや親子連れの方々で賑わいました。



出張!ミニ子ども夢パークの様子

また、会場内の諸室では、出張!ミニ子ども夢パーク、子どもの権利条約に関する書籍の展示やかるた体験、CAPプログラムワークショップ、不登校をテーマとした講演会、うんこドリルを活用したワークショップなど、多彩な企画を実施し、親子で楽しむ姿や熱心に話を聞く来場者の姿など、様々な様子が見受けられました。



「うんこドリルを学ぼう!遊ぼう!使おう!」
の様子



小中学生が描いた人権ポスターなどの
展示も

